

木造ビルの 一生は、長い。

ダラスの街を一望する、木造オフィスビル。
木の香りが鼻を抜ける。
新しいのに、どこか懐かしいのはなぜだろう。

木の建物を建てることは、
世界に森を造るようなものだという。
人間が木のぬくもりを感じながら過ごす長い間、
そのビルは炭素を閉じ込めつづける。
建てる時に出てしまうCO₂も、
木造ならば、RC造の3分の2。
建物としての役割を終えると今度は、
再生可能資源として社会を巡っていく。
建ててからも、壊してからも。その森は終わらない。
樹齢だけが木の生きた時間ではないのだと、私たちは思う。

木の建物とは、何十年先の人々に向けた
手紙のようなもの、かもしれない。
無数の想いを背負って、今日も木造ビルは建っている。

Good Neighbor Wood

森と人は、良き隣人になろう。

木と生きる幸福



住友林業